

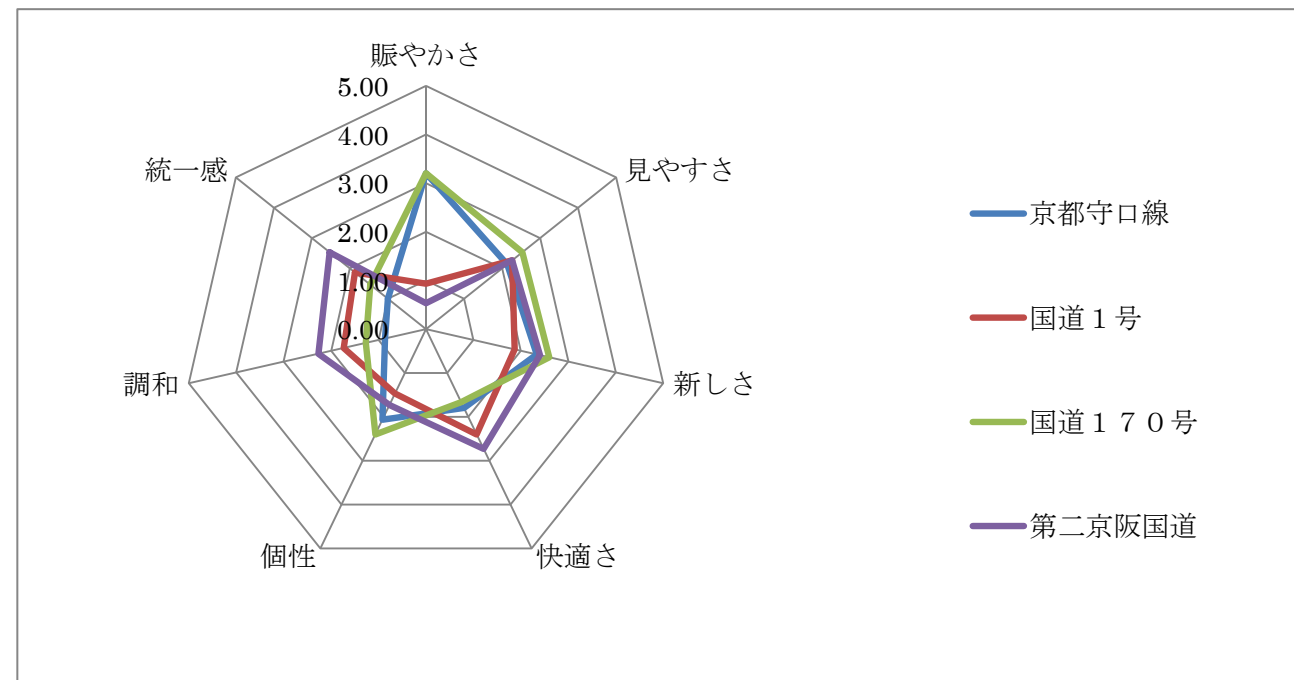
屋外広告物ガイドライン策定ワークショップ まちあるきの結果

第2回寝屋川市屋外広告物ガイドライン策定ワークショップ（7月13日（土））に行われたまちあるきにおいて市内4駅、市内主要路線での屋外広告物の現地まちあるきにより屋外広告物に関する印象をチェックシートに記入いただいた結果（主要幹線道路4路線分）を下記のとおりまとめる。当日の参加者は15名。

○この路線の広告物のおおまかな印象について

【チェックシート結果】

- ・路線では「京都守口線と国道170号」、「国道1号と第二京阪国道」の2つのグループに評価が分かれている。京都守口線・国道170号は「賑やかさ」、「見やすさ」、「新しさ」、「個性」といった項目に意見が集まり、一方、国道1号・第二京阪国道では「見やすさ」、「快適さ」、「楽しさ」という項目に意見が集まっている。



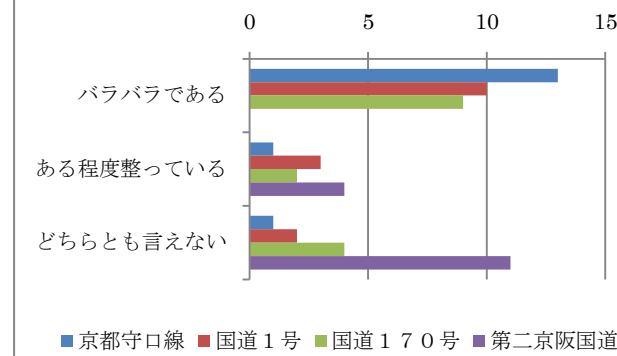
	賑やかさ	見やすさ	新しさ	快適さ	個性	調和	統一感
京都守口線	3.20	2.13	2.33	1.80	2.07	0.87	1.00
国道1号	0.93	2.27	1.87	2.40	1.47	1.73	1.87
国道170号	3.20	2.53	2.60	1.67	2.40	1.27	1.47
第二京阪国道	0.53	2.27	2.40	2.73	1.73	2.27	2.53

○広告物の形状、設置状況について

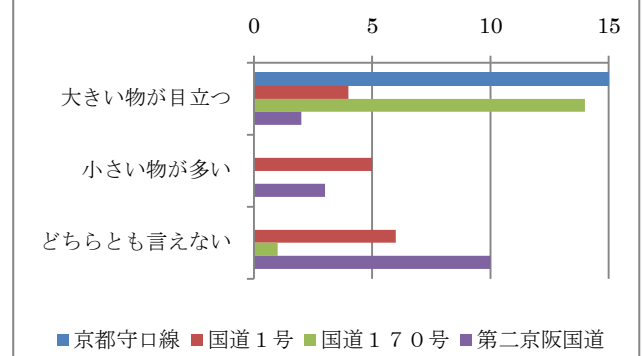
■広告物の統一感・大きさ

- ・京都守口線、国道1号、国道170号で統一感がない、という意見が集まっており、その中で京都守口線、国道170号で大きな広告物が目立っている。
- ・第二京阪国道では広告物の数が非常に少ないため、目立った意見は出されていない。

広告物の統一感



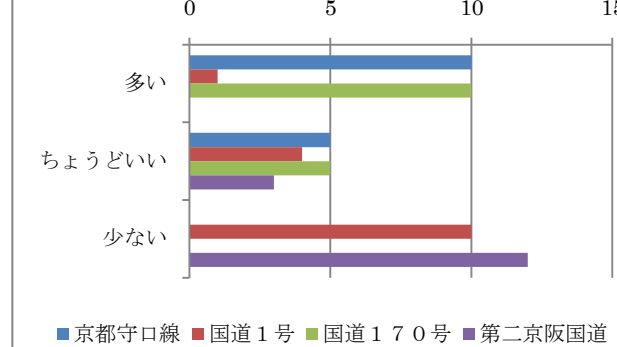
広告物の大きさ



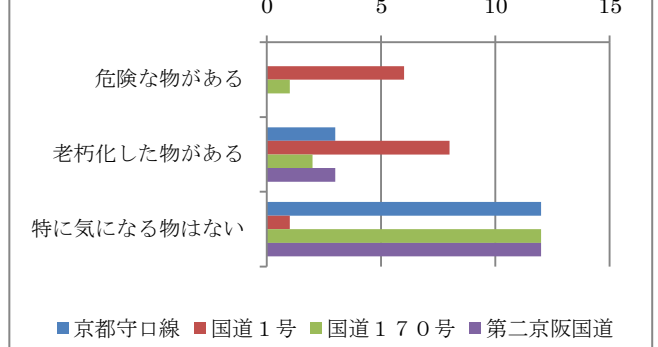
■広告物の数・危険性

- ・設置数では京都守口線、国道170号で多い、国道1号、第二京阪国道で少ない、と二つのグループに分かれる結果となった。
- ・危険性では、国道1号で危険なもの・老朽化したものがある、という意見が集まっているが、他の路線では特に気になる物はないとの意見が大半を占めていることから、適正に維持管理がされている広告物の数は多いものと判断される。

広告物の数



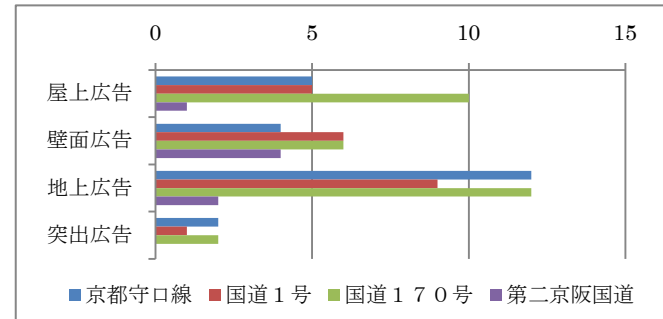
広告物の危険性



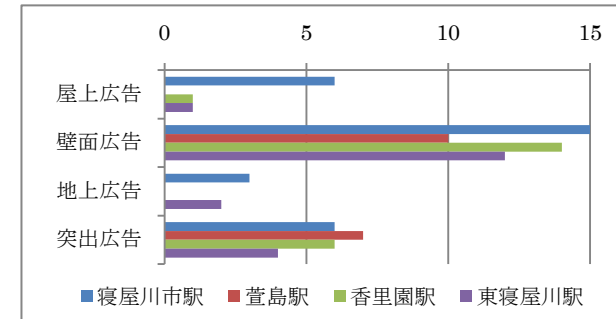
■目立って設置されている広告物は

・駅周辺ではいずれの駅においても壁面広告が目立っているのに対し、道路沿道では地上広告の目立ち具合が壁面広告を大きく上回っている。

■道路沿道



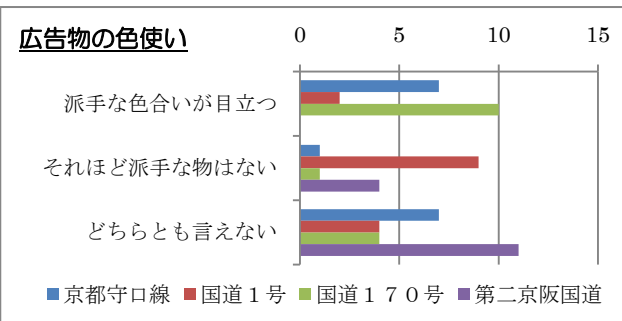
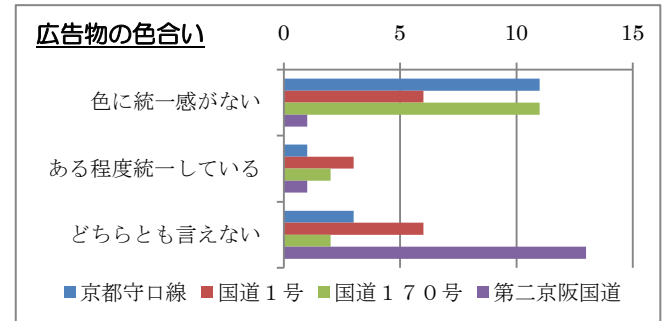
■駅周辺（参考）



○広告物の内容（文字、色彩、内容）について

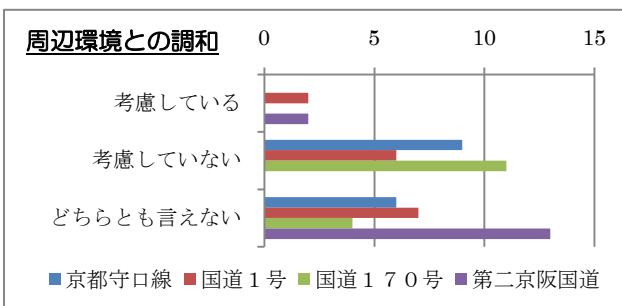
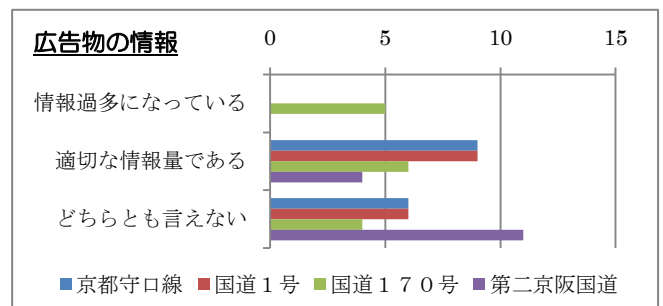
■広告物の色合い・色使い

・京都守口線、国道170号で色に統一感がない、派手な色合いが目立つという意見が集まっており、国道1号にはそれほど派手なものない、という意見が集まっている。



■広告物の情報・調和

・国道170号のみ情報過多になっているとの意見が出されているが、全体的には適切な情報量であるとの結果となっている。
・周辺環境との調和では、第二京阪国道を除く全ての路線で考慮していない意見が集まっている。



○自由回答（主な意見）

■京都守口線

- ・立体的な広告物が多く感じた(様々な高さの広告物がある。)。そのため数が多い割りに遠くからでも重なりが少ない。
- ・左右に広告物がとても多く、一つの店を探しているドライバーには情報が多すぎて目当ての店を探しにくい環境だと感じた。
- ・全体的に見て、ある程度お店の近くまで行かないと見えない看板が多かった。
- ・全体的に原色の派手な看板が多い。
- ・日本全国どこにでもある国道沿いの風景なので、雑然としていると同時にある意味で統一感がある。
- ・飲食店は分かりやすい看板が多かった。企業は名前だけで業種は分かり難い。
- ・路線の最初の方は、白・青の看板が目立った。終わりの方になるにつれて、看板数が減っていったイメージ。
- ・電柱が看板を隠す効果あり。数の割りに気にならない要因か。幅員が充分にあることも一因かも知れない。
- ・幹線道路なので多少大きな広告物でも圧迫感等を感じない。
- ・看板は多かったが、全体的に文字が大きく見やすい物であった。遠くからでは電柱で見えない物もあった。

■国道1号

- ・道路左右、高架の前後ですいぶん印象が違った。淀川側の環境が素晴らしかったため、広告物もそれを妨げることのないように工夫する必要性を感じた。
- ・看板の数が少なすぎて、あまり的確な判断ができなかった。
- ・植物が生い茂っており、ギリギリにならないと見えないような看板もあった。
- ・淀川側が緑地や植樹などで、ごちゃついた広告物の印象が少ない。
- ・街路樹のため、広告物の視認性は悪い。
- ・多い印象はない。自家用看板が多かった印象。淀川側が緑であったので、それに調和した看板が望まれる。
- ・店舗などが少なく、看板も少ない。街路樹が多いため、見えないが、それより高い看板が目立ち、分かりやすい。

■国道170号

- ・大きい店舗が多く、小さい店が少なかったため、広告も大きい物が目に付いた。広告の数自体は多い印象はなかった。
- ・住宅の近くに液晶画面があって、夜になると看板の光で不快に感じるのではないかと思った。
- ・全体を通してパチンコ屋の赤色がかなり目立つ(数件あり)。壁面に大きな写真を配置した建物が、他の路線に比べて多い。
- ・同じ170号でも浜屋の交差点から南に入ると広告が減少している。
- ・幹線道路につき、ドライバーからの目線で見ると大きい物が多く見やすい。一方で過大であり他の目的もあるのかと思うくらいの物もあった(パチンコ屋)。
- ・マクドナルドの看板が回転していた。

■第二京阪国道

- ・広告物が少ない。周辺環境が緑が多く素晴らしい。
- ・住宅が多く、広告物がほとんどない。
- ・防音壁であまり何も見えない。